

<p>投稿年月日</p>	<p>令和2年7月21日</p>	<p>投稿者</p>	<p>市内在住 女性</p>
<p>ご意見・ご提案内容</p>	<p>私は第三子妊娠中、妊娠9ヶ月の妊婦です。年齢的にもこれが最後の妊娠です。</p> <p>緊急事態宣言が出た頃は妊娠4~5ヶ月位だったと思います。その頃登園自粛が始まり上の子達を見ながらのつわり。そしてうつらない、うつさないの気持ちでももちろん外出は避けてきました。</p> <p>そしてこの6月末から切迫早産で入院中なのですが、面会は家族1人15分限り。子供達にももちろん会えません。子供の具合が悪くなりかかりつけの諫早の小児科に主人が子供を連れて行きました。その数日後に諫早でコロナ感染者が出て、入院中の産婦人科から『半島外に出た方は2週間面会禁止』との通達。そして今日(7月21日(火))島原でコロナ感染者が出た為、面会全面禁止・立ち合い出産NGとなりました。退院していざ出産となって陣痛が来ても産院まで送ってもらいそこで家族とは別れ1人で陣痛に耐え産む。そして産後も退院まで家族にも会えない赤ちゃんも見てもらえない。どれだけ辛いかな…妊娠が分かってからずっとコロナに怯えながら、どうか無事に生まれるようにとだけ祈りながら耐え過ごしてきましたが、今回の面会禁止・立ち合い出産も禁止で心が折れそうです。仕方がないのは分かっています。従います。産婦人科の先生も苦渋の決断ですし、看護師さん達も申し訳ないと言ってこられます。先生方が悪いわけではないのに…</p> <p>国や地方自治体のコロナ支援はなんでも健康な方対象なものばかり…南島原市で言えばくうぼんキャンペーン。県で言えば旅キャンペーン。これも私たち妊婦は利用するのは不可能に近いです。産後もほぼ無理です。何でこんな時期に妊娠してしまったんだろう…無事に産まれたとしても今度はコロナとインフルエンザを心配する中での新生児育児が待っています。このままコロナが広がれば産後は上の子達は感染予防のために保育園は休ませなければとも思います。新生児をみながら4歳児2歳児と家にこもりきり…どうしたら良いのでしょうか？人口に比べれば妊婦の数なんてほんのひと握りだと思います。こんな小さな声は届かないかもしれません。でも心配で不安で涙が出る毎日を過ごしている人間もいると言う事を国や地方自治体の方たちに知って頂きたいメールしました。妊婦・新生児・多子家庭支援も考えていただけると有難いです。産後うつにならないかとても不安です。どうかこのコロナが収束しますように。</p>		
<p>回答</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>市民の皆様におかれましても、今回の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に多大なるご協力をいただき、深く感謝申し上げます。</p> <p>貴殿におかれましては、6月末から入院されており、そのうえ家族とも面会の制限があり、今後の出産のことについても考えられる度に不安であられることが十分に伝わってまいりました。</p>		

	<p>コロナウイルス感染症の関係で、一人で出産されてとても心細かったという市民の方のお声も、訪問時に耳にいたしました。職員一同、胸を痛めています。私達もコロナウイルス感染症の収束を願うばかりです。</p> <p>本市では妊婦や産婦向けに次の事業を実施しています。</p> <p>妊娠中の妊婦健診(14回)や妊婦歯科健診、産後の産婦健診(2回)等が無料で受けられます。出生後は、乳幼児の紙おむつ、粉ミルクなどの購入に利用できる「すくすく赤ちゃん券(月額2000円2歳になる誕生月まで)」の支給や保育環境の充実に努めており、保育施設へのコロナ対策の支援も実施しています。</p> <p>さらに、産婦の体調や育児に不安がある方に対して、産後ケア(在宅で実施する訪問ケア・産婦人科で実施するショートステイ・デイケア)を実施しており、産後1年間は助産師による出産後の母体の身体のケアや、育児・授乳の相談を受けることが出来ますのでご利用ください。また、状況によりましては、養育支援訪問事業による助産師訪問やホームヘルプサービスもありますので、ご利用の際はご相談ください。</p> <p>このような状況で出産に際し、不安を抱かれておられることもお察し申し上げます。妊娠・出産・育児につきまして、ご不明な点や不安なことがございましたら、こども未来課保健師や管理栄養士等の専門職にどうぞお気軽にご相談ください。 【こども未来課 ☎0957-73-6652】</p>
担当課	こども未来課